

小学校創立 150 周年記念

小学校のはじまりと校歌



令和5年

吉川市の

文化財企画展



2023 年

10/20(金)→10/25(水)

時 間 9:30～16:30

場 所 吉川市役所 1 階
コミュニティルーム

ごあいさつ

吉川市では、地域で大切に守り伝えられてきた石塔や古文書などを昭和57年から文化財として保護・保存し、現在44件の市指定文化財があります。これらの文化財や市の歴史を皆様にご紹介し、あらためて吉川市を知っていただくことを目的として、令和2年から「吉川市の文化財展」を開催してまいりました。

4回目を迎える令和5年の文化財企画展では、吉川市内の小学校と各校に残る学校資料をテーマに企画展を開催いたします。

今から151年前の明治5年に学制が公布され、翌明治6年には現在の吉川小学校、旭小学校および三輪野江小学校の3校が開校し、今年で創立150周年を迎えます。

本図録は「令和5年吉川市の文化財企画展」で展示した資料と解説パネルの一部をまとめたものです。

今回の展示をとおして、校歌の制定ならびに“小学校”という教育機関の意義や地域住民、卒業生として学校への関わり方、また貴重な学校資料を未来に残していくことについて、考えていただくきっかけとなれば幸いです。

おわりに、開催にあたりご理解とご協力を賜りました各小学校長をはじめ皆様方に心から厚くお礼申し上げます。

令和5年10月20日

吉川市教育委員会 生涯学習課 文化財保護担当

【主な参考文献】

『歌う国民』 渡辺裕 2010年 中央公論新社

『校歌の誕生』 須田珠生 2020年 人文書院

『東京芸術大学百年史 東京音楽学校篇 第2巻』

東京芸術大学百年史編集委員会 2003年 音楽之友社

『校歌——いちばん身近な詩』 さいたま文学館 2013年

『写真で見る吉川の歩み』 吉川市教育委員会 2007年

『年表 吉川のあゆみ－普及版－』 吉川市史編さん委員会 2016年

『吉川市史 通史編2』 吉川市史編さん委員会 2017年

「吉川市立小中学校教育ポータルサイト」 <https://www.yoshikawa.ed.jp/>

『中曽根小学校 十年のあゆみ』 吉川町立中曽根小学校創立十周年実行委員会 1991年

『昭和48年度 学校要覧』 埼玉県北葛飾郡吉川町立関小学校 1973年

吉川市内の小学校

江戸時代の村や町の子どもたちへの教育は「^{てならいじゅく}手習塾」「^{てらこや}寺子屋」といった場所でおこなわれていた。教師を務めたのは僧侶や村役人などで、彼らの寺や住居が教室として使用された。教育内容は、読み・書き・計算といった実用的なもので、その内容や就学年齢、在学期間、費用などは子どもたち各々に合わせたものだった。

時代が明治に入ると、近代化を進める中で日本初の近代的学校制度を定めた「学制」が明治5年（1872）8月に公布される。これにより、身分・性別に関係なく全ての子どもたちを就学させることになった。しかし「学制」では、小学校にかかわる費用は地域が負担し、生徒からは授業料を徴収することとされたため、実際の小学校創設・運営は、各地域によって様々だった。



▲筆子碑（半割）。寺子屋の生徒が建てた師匠（清重）の供養塔。文化2年（1805）に建碑

吉川小学校、旭小学校、三輪野江小学校



▲◀延命寺（吉川）。かつての芳川学校が置かれた場所で、開校140周年の記念碑がある。

明治時代の埼玉県（現：埼玉県東部）では、24の行政区それぞれに1校ずつ中心となる公立小学校（本校）を設け、その他は私立とした。本校は区内の小学校を取りまとめ、模範となることが求められる。明治8年には、私立として開設された小学校も公立と改められた。

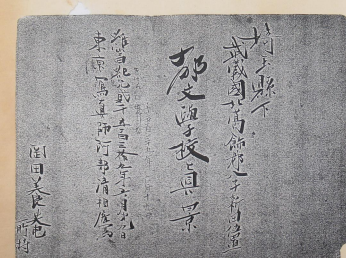
現在、吉川市内には8つの小学校があるが、なかでも、^{よしかわ}吉川小学校、^{あさひ}旭小学校、^{みわのえ}三輪野江小学校の3校は、明治6年（1873）～9年（1876）に元となる学校がそれぞれ寺院などの敷地内で開設されている。これらを含め、当時開設された学校のほとんどが、地元の有志たちによって開かれたものだった。



▼大正8年（1919）の三輪野江尋常高等小学校

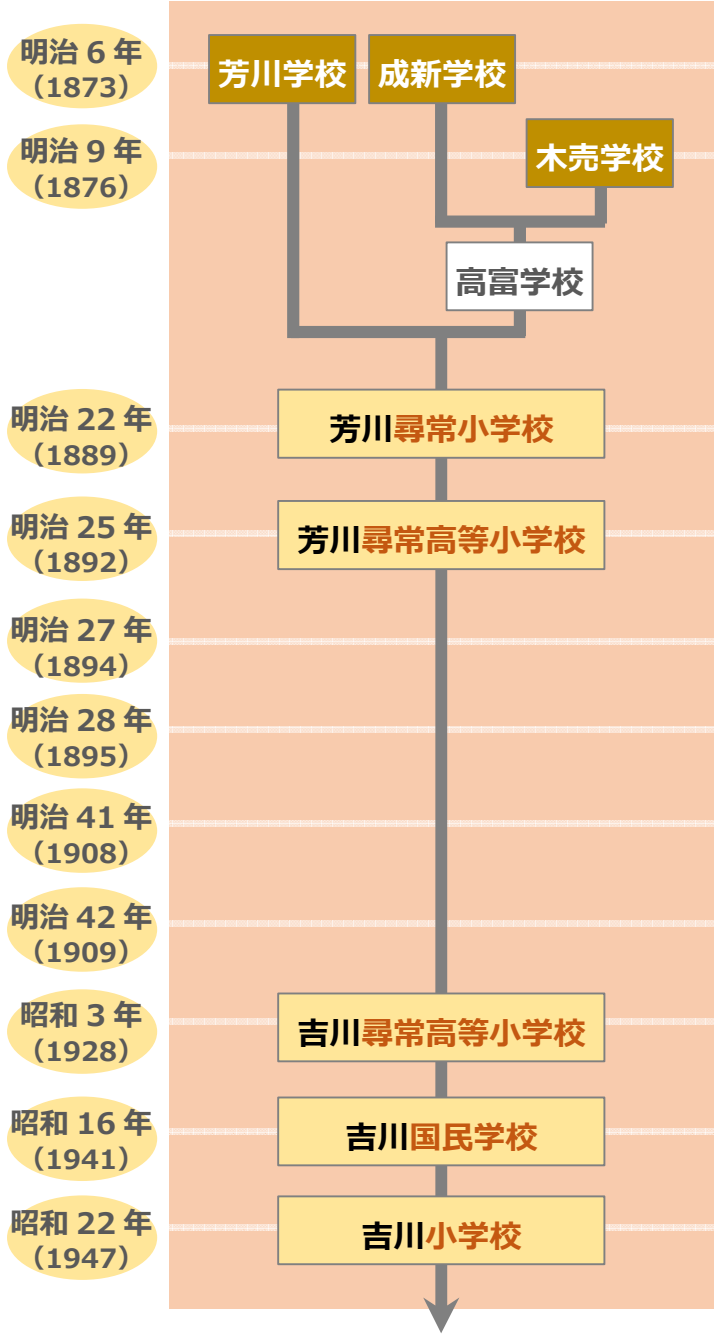


◀明治13年6月の旭小学校（旭小学校所蔵）



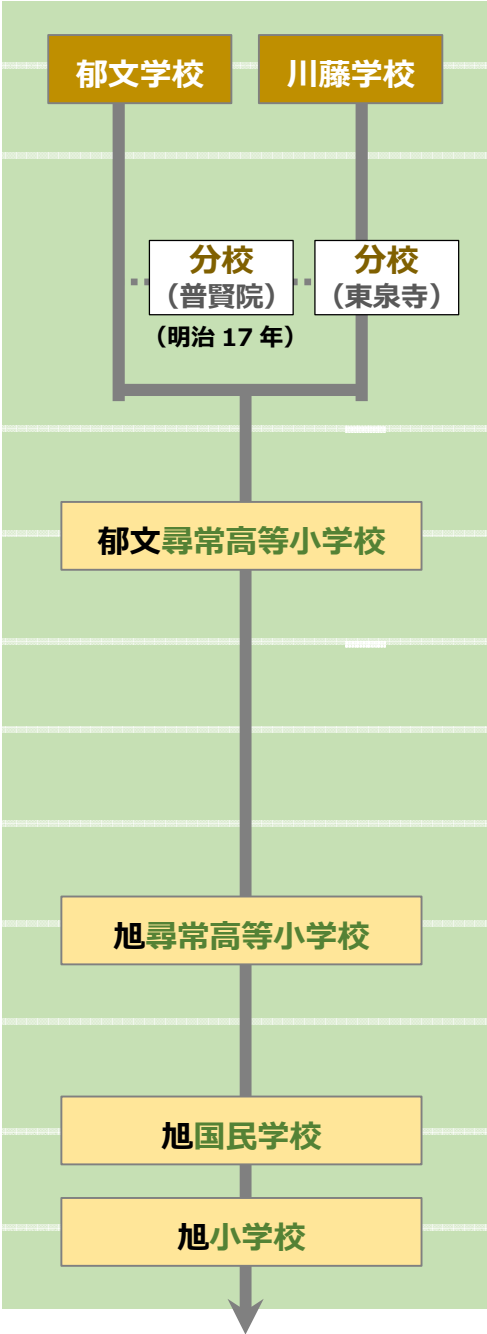
小学校の移り変わり

吉川小学校



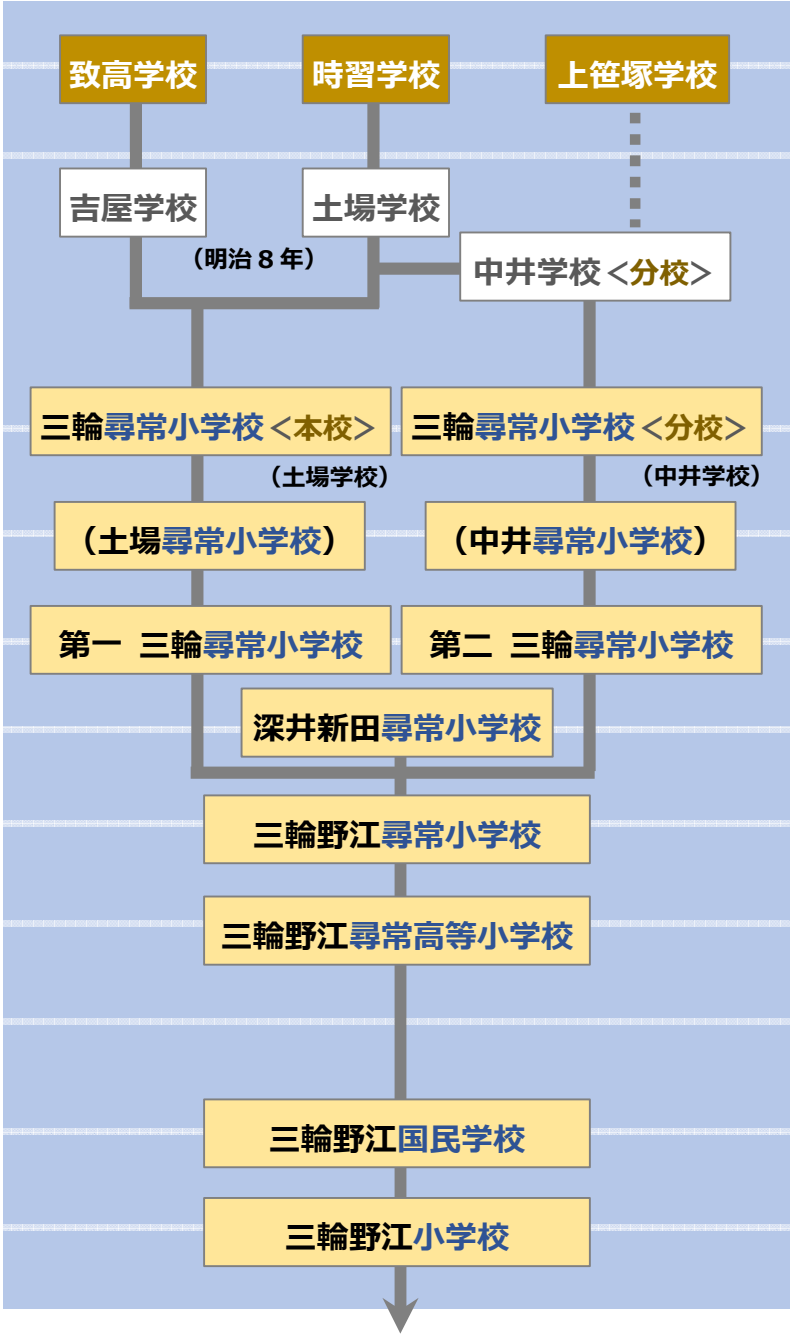
吉川小学校

旭小学校



旭小学校

三輪野江小学校



三輪野江小学校

現在

武蔵野線 開通以降に開校した小学校



関小学校
1973 年開校



北谷小学校
1975 年開校



栄小学校
1979 年開校



中曽根小学校
1981 年開校



美南小学校
2013 年開校

* 「令和 3 年 吉川市の文化財展 図録」より転載（一部改変）

小学校と校歌

明治時代は近代化を進めたい政府により様々な唱歌^{しょうか}が作られ、国民の教育に利用されていたが、明治 26 年（1893）8 月までは特に行事・儀式用に定められたものはなかった。

そこで、現在の東京都台東区立^{しのぶがおか} 忍 岡 小学校が儀式の際に歌うものとして校歌を作成し、明治 26 年 2 月に文部大臣より祝祭日用の唱歌としての許可を得た。その後、各地で自校の精神や地域の風土の特徴を歌詞に取り入れた校歌を制作する学校が現れると、住民誰もが歌える地域の歌として定着、また学校の誇りになるなどして、広く校歌が作られるようになっていった。

学校に残された資料たち

設立された小学校では数多くの資料を作って活用してきた。企画展の開催にあたり、各小学校に残された学校資料を拝見してきたが、学校の創立年や歴史に関係なく、保管・活用されていた資料は非常に少ない。

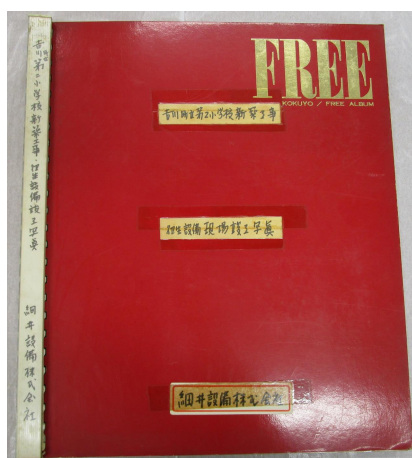
このことは、旭小学校での火災の事例や昭和 22 年のカスリン台風による大水害での資料の損失もあるが、各学校には資料を保管する専用の場所がないため、保存が難しいという実情がある。

そうした中、開校 150 周年を迎えた吉川小学校、三輪野江小学校に残る貴重な校歌関連資料を展示する機会に恵まれた。これに合わせて、各小学校に保管されていた学校関係資料も展示する。



◀「鉄道唱歌」、「軍国唱歌」

しかし、認可を受けるには詞と曲とが厳しく審査され、認可が下りるまで何度も申請し直したという学校もあった。また、著名な詩人や作曲家に依頼する場合には相応の謝礼も必要だったため、校歌を得るのは簡単なことではなかった。



◀▼校舎の新築工事の際の現場写真を収めたアルバム（北谷小学校所蔵）



▶昭和 55 年（1980）2 月 12 日の校旗・校歌の制定と開校記念の式典にあわせて作られた折本。歌詞と校旗の写真が掲載されている。（栄小学校所蔵）

